

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
地理歴史	地理総合	2	必修 (16期生以降)	講義	35	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	再		
						※4年次:16期、17期のみ					
学習目標	持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して、グローバル・ローカルの両視点から現代の地理的な諸課題を考察する。汎用的・実践的な地理的技能を習得する。										
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> ○地図や地理情報システムで捉える現代世界 ○生活文化の多様性と国際理解 ○自然環境と防災 ○地球的課題と国際協力 ○生活圏の調査と地域の展望 									
教科書 副教材等	46	帝国	地総046-901	『高等学校 新地理総合』(帝国書院)						地図帳『標準高等地図』(帝国書院)	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○「地理総合」は卒業までに2単位履修しなければならない(16期生以降)。 ○文系学部の大学へ進学を考えている生徒は、1年次での履修が望ましい。 ○ワークシートをとじるファイルを用意すること。 										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況				<input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組		<input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出		<input checked="" type="checkbox"/> 定期考査		
以上の点を総合的に評価する。											
履修条件	<input type="checkbox"/> 16期生以降の生徒である。(3年次の年次指定科目)										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『中学校の地理が1冊でしっかりわかる本』(宮路秀作)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
地理歴史	歴史総合	2	必修 (16期生以降)	講義	35	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
						※4年次:16期、17期のみ					
学習目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、近現代の歴史を考察、構想する。										
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の扉(歴史と私たち・歴史の特質と資料) ○近代化と私たち(結び付く世界と日本の開国・国民国家と明治維新など) ○国際秩序の変化や大衆化と私たち(第一次世界大戦と大衆社会など) ○グローバル化と私たち(冷戦と世界経済・世界秩序の変容と日本など) 									
教科書 副教材等	46	帝国	歴総046-901	『明解 歴史総合』(帝国書院)							
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史総合」は卒業までに2単位履修しなければならない(16期生以降)。 ○文系学部の大学へ進学を考えている生徒は、1年次での「地理総合」との同時履修が望ましい。 ○ワークシートをとじるファイルを用意すること。 										
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況				<input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組		<input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出		<input checked="" type="checkbox"/> 定期考査		
以上の点を総合的に評価する。											
履修条件	<input type="checkbox"/> 16期生以降の生徒である。(4年次の年次指定科目)										
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『世界の歴史(中公文庫)』										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界史A	2	必修 (15期生)	講義	35	-	-	-	再
						※4年次15期のみ			
学習目標	○近現代を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら学ぶ。 ○歴史上重要な事象を中心に基礎的知識を獲得し、歴史的なものの見方や考え方を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○一体化する世界(大航海時代の世界、アメリカとフランスの革命、産業革命等) ○19世紀の欧米世界(アジア諸国とヨーロッパの進出、帝国主義の時代等) ○現代の世界と日本(第一次世界大戦と民族主義、ファシズムの台頭と第二次世界大戦、米ソ冷戦とアジア・アフリカ等)							
教科書副教材等	46	帝国	世A314	『明解 世界史A』(帝国書院) 『ニューステージ 世界史詳覧 白地図集付』(浜島書店)					
留意事項	○「世界史A」は卒業までに2単位履修しなければならない(15期生)。 ○世界史での一般受験を考えている生徒は「世界史演習Ⅰ・Ⅱ」をあわせて履修することが望ましい。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <div style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</div>								
履修条件	<input type="checkbox"/> 15期生である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『世界史用語集』(全国歴史教育研究協議会)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	日本史A	2	必修 (15期生)	講義	35	-	-	-	再
						※4年次15期のみ			
学習目標	○近現代史を中心に、日本の歴史を当時の国際情勢と関連付けながら学ぶ。								
主な学習計画	1年間の学習	○近代日本の形成(国際情勢の変化と明治維新、明治新政府の諸改革、立憲国家の成立等) ○東アジア世界の変動と日本(日清戦争と近代社会の確立、日露戦争と帝国日本の形成等) ○二つの世界大戦と日本(第一次世界大戦と帝国日本、軍国日本への道、太平洋戦争等) ○第二次世界大戦後の国際社会と日本(現代世界の開幕と日本の戦後改革等)							
教科書副教材等	2	東書	日A308	『日本史A 現代からの歴史』(東京書籍) 『新詳日本史』(浜島書店)					
留意事項	○「日本史A」は卒業までに2単位履修しなければならない(15期生)。 ○日本史での一般受験を考えている生徒は「日本史演習Ⅰ・Ⅱ」をあわせて履修することが望ましい。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 <div style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</div>								
履修条件	<input type="checkbox"/> 15期生である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『生きづらい明治社会 — 不安と競争の時代 —』(松沢 裕作)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界史演習 I	2	自由選択	講義	35	-	○	○	○
学習目標	○前近代史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、世界の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○地球と人類のはじまり ○西アジア世界・地中海世界の形成(オリエント、ギリシア、ローマ 等) ○南アジア世界・東アジア世界の形成(インド、中国、朝鮮半島 等) ○イスラーム世界の形成と拡大(イスラーム国家の成立、イスラームの文化 等) ○ヨーロッパ世界の形成と変動(中世ヨーロッパ 等) ○内陸アジア世界、諸地域世界の繁栄と成熟(モンゴル帝国・明・清 等)								
教科書副教材等	81 山川 世探 704 『詳説世界史』(山川出版社) 『ニューステージ 世界史詳覧 白地図集付』(浜島書店)								
留意事項	○大学進学を目指し、前近代史を学習したいという生徒のための講座。(大学入試レベル) ○新カリキュラムの「世界史探究」の教科書を使用して、「世界史演習 I」と「世界史演習 II」で「世界史探究」の内容を学習する。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「歴史総合」または「世界史 A」を履修済み(または見込み)、もしくは同時登録していること。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『時代と流れで覚える！世界史B用語』(相田知史・小林勇祐)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界史演習 II	2	自由選択	講義	35	-	○	○	○
学習目標	○近現代史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、世界の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習 ○ヨーロッパの拡大と大西洋世界(大航海時代、ルネサンス、宗教改革 等) ○産業社会と国民国家の形成(産業革命、合衆国独立、フランス革命とナポレオン 等) ○世界市場の形成とアジア諸国(ヨーロッパ諸国のアジア進出、アジアの変動 等) ○世界の分割(世界を支配する国々、民族主義と国家建設、世界の一体化 等) ○二つの世界大戦(第一次世界大戦、合衆国の繁栄、世界恐慌、第二次世界大戦 等) ○戦後世界の形成と変容(冷戦、第三世界、平和共存と多極化、冷戦の終結 等)								
教科書副教材等	81 山川 世探 704 『詳説世界史』(山川出版社) 『ニューステージ 世界史詳覧 白地図集付』(浜島書店)								
留意事項	○大学進学を目指し、近現代史を学習したいという生徒のための講座。(大学入試レベル) ○新カリキュラムの「世界史探究」の教科書を使用して、「世界史演習 I」と「世界史演習 II」で「世界史探究」の内容を学習する。 ○ノートやプリントをとじるファイルを用意すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「歴史総合」または「世界史 A」を履修済み(または見込み)、もしくは同時登録していること。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『時代と流れで覚える！世界史B用語』(相田知史・小林勇祐)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
地理歴史	日本史演習 I	2	自由選択	講義	35	-	○	○	○
学習目標	○古代から近世の歴史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、日本の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○古代国家の形成と貴族文化の誕生 (原始社会の生活と文化、農耕社会の形成と大陸文化の摂取、律令国家の形成、摂関政治) ○武家社会の形成と生活文化のめばえ (中世社会の成立、武家社会の形成と東アジア) ○近世社会の形成と庶民文化の展開 (ヨーロッパ文化との接触と国内統一、幕藩体制の成立、近世社会の発達)							
教科書 副教材等	81	山川	日探 705	『詳説日本史』(山川出版社) 『新詳日本史』(浜島書店)					
留意事項	○大学進学を目指し、日本史を受験科目とする生徒のための講座。(大学入試レベル) ○新カリキュラムの「日本史探究」の教科書を使用して、「日本史演習 I」と「日本史演習 II」で「日本史探究」の内容を学習する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「歴史総合」または「日本史 A」を履修済み(または見込み)、もしくは同時登録していること。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『中国化する日本 日中「文明の衝突」-千年史』(與那覇潤)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
地理歴史	日本史演習 II	2	自由選択	講義	35	-	○	○	○
学習目標	○近代以降の歴史を中心に学び、重要なテーマについて具体的に探究することを通して、日本の歴史に関する理解を深める。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○近代国家の形成と国民文化の発展 (開国から明治維新へ、立憲政治の形成、日本の近代化と東アジア、 デモクラシーと第一次世界大戦、激動する世界と日本) ○現代の世界と日本 (占領と国内改革、国際社会への復帰と高度経済成長)							
教科書 副教材等	81	山川	日探 705	『詳説日本史』(山川出版社) 『新詳日本史』(浜島書店)					
留意事項	○大学進学を目指し、日本史を受験科目とする生徒のための講座。(大学入試レベル) ○新カリキュラムの「日本史探究」の教科書を使用して、「日本史演習 I」と「日本史演習 II」で「日本史探究」の内容を学習する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「歴史総合」または「日本史 A」を履修済み(または見込み)、もしくは同時登録していること。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『名人の授業 金谷の日本史「なぜ」と「流れ」がわかる本』(金谷俊一郎)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	江戸から東京へ	2	自由選択	講義・実習	35	-	○	○	○
学習目標	○江戸東京がもつ伝統文化とともに、現在の東京がかかえる諸課題を近世以降の歴史から学ぶ。								
主な学習計画	1年間の学習	○江戸時代の社会の仕組みから、欧米列強の接近によってもたらされた幕藩体制の動揺、倒幕に至る過程を学ぶ【1学期】 ○明治維新後の近代国家形成過程から大正期における軍部の台頭と政党政治の終焉について学ぶ【2学期】 ○太平洋戦争から高度経済成長以降の日本に着目し、国際社会における日本や東京の役割を学ぶ【3学期】							
教科書 副教材等	『江戸から東京へ』(東京都教育委員会)								
留意事項	○調べ学習、レポートの作成、グループ作業、発表等が中心となる。 ○長期休業期間(夏冬)を活用してフィールドワークを行うことがある。 ○ワークシートを使用した授業を行う。ファイルの用意が必要となる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『江戸から東京へ』(東京都教育委員会)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
地理歴史	世界遺産で学ぶ社会	2	自由選択	講義	35	-	○	○	○
学習目標	○「世界遺産検定」3級の合格にむけた対策を通じて、日本や世界の地理歴史に関心を持ち、異文化理解を深め、身近な地域や国際社会の平和と持続可能な社会に貢献できる力を身につける。								
主な学習計画	1年間の学習	○「世界遺産検定」3級合格にむけた講義・問題演習 1学期:日本の世界遺産 2・3学期:世界の世界遺産 ○世界遺産を題材とした探究的な学習(グループワーク等)							
教科書 副教材等	『きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト』第5版								
留意事項	○「世界遺産検定」合格に向けた対策を行う講座である。 ○検定受験の際には受験料などがかかる。(原則12月に受験予定) ○2級以上の合格を目指す場合は別途テキスト代と受験料などがかかる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『世界遺産で考える5つの現在』(宮澤 光)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	公共	2	必修 (16期生以降)	講義	35	-	▽	再	再
学習目標	○人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。								
主な学習計画	1年間の学習	○公共の扉 ○自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ○持続可能な社会づくりの主体となる私たち							
教科書副教材等	183	第一	公共183-902	『高等学校改訂版新公共』(第一学習社)					
留意事項	○「公共」は卒業までに2単位履修しなければならない(16期生以降)。 ○「現代社会」の未履修者(15期生)は卒業までに「公共」を2単位履修しなければならない。 ○「現代社会」を履修済みの生徒は履修できない。 ○ワークシートをとじるファイルを用意すること。 ○レポートや小論文の作成、グループ作業、発表等を行うことがある。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である(2年次の年次指定科目)。 <input type="checkbox"/> 「現代社会」を履修していない(15期生の場合)。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	中学校で使用した社会科の教科書								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	倫理	2	自由選択	講義	35	-	-	○	○
学習目標	○青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を目指し、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○自己形成と自己の生き方(青年期、人間とは) ○人間としてのあり方生き方(ギリシア哲学、宗教、中国思想等) ○社会・世界と人間としてのあり方生き方(人間の尊厳、科学技術と人間、近代的人間等) ○国際社会に生きる日本人としての自覚(古代日本人の思想、近世日本の思想等) ○現代の課題と倫理(生命倫理、環境倫理、科学技術の倫理、福祉の課題、文化と宗教等)							
教科書副教材等	7	実教	倫理 702	『詳述 倫理』(実教出版) 『最新図説倫理』(浜島書店)					
留意事項	○ノートやワークシートを使用した授業を行う。ノートとファイルの用意が必要となる。 ○レポートや小論文の作成、グループ作業、発表等を行うことがある。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 16~18期生の場合、「公共」を履修済み(または見込み)であること(「公共」との同時登録不可)。 15期生の場合、次の①・②いずれかの条件を満たすこと。①「現代社会」を履修済みである。 ②「公共」を履修済み(または見込み)もしくは同時登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	政治・経済	2	自由選択	講義	35	-	-	○	○
学習目標	○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成する。								
主な学習計画	1年間の学習	○現代日本の政治・経済の諸課題(現代日本の政治・経済、現代日本の諸課題の探究) ○グローバル化する国際社会の諸課題(現代の国際政治・経済、国際社会の諸課題の探究)							
教科書 副教材等	183 第一 政経706	『高等学校 政治・経済』(第一学習社) 『最新政治・経済資料集』(第一学習社)							
留意事項	○大学入試一般選抜で「政治・経済」を受験科目とする生徒に向けた入試レベルの学習や、大学で社会科学系の学問(法学・政治学・社会学・経済学・経営学など)を学びたい生徒に向けた発展レベルの学習を行う。「公共」の発展科目である。「公共」よりも難しい内容を扱うことを理解した上で登録すること。 ○ノートやワークシートを使用した授業を行う。ファイルの用意が必要となる。 ○レポートや小論文の作成、グループ作業、発表等を行うことがある。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 16～18期生の場合、「公共」を履修済み(または見込み)であること(「公共」との同時登録不可)。15期生の場合、次の①・②いずれかの条件を満たすこと。①「現代社会」を履修済みである。 ②「公共」を履修済み(または見込み)もしくは同時登録している。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『民主主義とは何か(講談社現代新書)』(宇野重規)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
公民	時事問題	2	自由選択	講義	35	-	○	○	○
学習目標	○「ニュース時事能力検定」各級の合格にむけた対策を通じて、現代社会の出来事に関心を持ち、社会の仕組みや流れについての正しい知識を身に付け、新聞やテレビのニュースを読み解くための「時事力」を養う。								
主な学習計画	1年間の学習	○「ニュース時事能力検定」3級合格にむけた講義 ○「ニュース時事能力検定」3級合格にむけた問題演習							
教科書 副教材等	『ニュース検定公式テキスト&問題集 時事力基礎編(3・4級対応)』 オリジナル教材プリント								
留意事項	○「ニュース時事能力検定」合格に向けた対策を行う講座である。 ○検定受験の際には受験料などがかかる。 ○準2級以上の合格を目指す場合は別途問題集代と受験料などがかかる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input checked="" type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件 セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『痛快！憲法学』(小室直樹)								

授業選択の話②

「登録」「履修」「修得」それぞれの違いわかりますか？

シラバスには「登録」「履修」「修得」が何度も出てきます。その違いを確認しておきましょう。

(学校生活の手引きにも載っています)

登録 … 授業登録のこと。登録していない科目の授業には参加できません。

履修 … 登録した科目の授業を受け、出席が基準を満たすこと。本校では、年度末に行われる成績会議で、各科目の年間の法定授業時数（1単位 35時間）の3分の2以上の出席をもって履修を認めます。

各科目の欠課時数が3分の1を超えると履修は認められず未履修になります。

必修科目が未履修になると、履修できるまで再履修が必要です。

修得 … 履修が認められた科目の学習成果が科目の目標に達している(評定が2以上)場合に単位修得が認定されます。卒業には74単位の修得が必要です。

* 評定2～5：履修○、修得○

(科目の目標を達成しているので、評定2以上は単位の修得が認定されます。)

* 評定1：履修○、修得×

(履修は認められますが、学習成果が不十分であるため単位の修得は認定されません。)

★この用語説明は、あくまで「学校内ではこういう意図で用語を使い分けているよ」という意味です。奨学金の計算など、場合によっては言葉の意味が違う場合がありますので注意が必要です。